

報告日 令和7年10月21日
報告回次 2回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	門真市			代表者名	宮本 一孝
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政部ICT推進課	連絡先電話番号	06-6902-5793
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	大中 伸彦	連絡先E-mail	
住所	571-8585 大阪府門真市中町1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	DX推進事業、庁内ネットワーク環境整備事業
概要	令和4年度に策定した「門真市DX推進計画」を改定し、バージョンアップしてより一層DXを推進するとともに、特にDX人材育成にも力を入れたいと考えている。これら一連の計画・方針策定について指導・助言をいただきたい。また、計画改定を踏まえ、DX推進リーダーに向け研修を実施していただきたい。加えて、国が進める自治体ネットワーク分離方式（いわゆる三層分離）の見直しを踏まえ、今後どのように庁内ネットワーク環境を整備すべきか技術的な助言をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 計画策定支援 ネットワークインフラ（Wi-Fi/LPWA/光ネットワーク）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	571	令和7年10月21日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月22日	支援・助言（オンライン）	10時00分	12時00分	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	DX推進計画の改定について、第1回目支援での指摘事項等を踏まえた改定素案を説明し、助言を求めたところ、各項目における取組の方向性やスケジュールについて一定の評価をいただくとともに、更に盛り込むべき視点や表現等を適切に指摘いただいた。また、次期計画の重点取組事項の中心となるフロントヤード改革について、対象とすべき所属の範囲やワーキンググループ設置までの過程、令和8年度のスケジュールをご助言いただき、今後の見通しの参考となった。
アドバイザーへの要望事項	DX推進計画の改定について、2回に渡りご助言いただき、ブラッシュアップされてきている。今後は、この改定計画を踏まえ、DX推進リーダーに対する研修を実施していただき、更なる庁内のDX推進が図られるようご支援いただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	4人
	属性	自治体職員		
	人数		4	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	令和4年11月に策定した「門真市DX推進計画」の計画期間が令和7年度末までとなっているが、令和8年度以降も本市DXを引き続き推進していく必要があることから、次期計画に盛り込み、推進していくべき取組事項の精査やDX推進にあたり必要となる能力を身に付けたデジタル人材の育成に取り組む必要がある。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	今後進展していく人口減少社会において、持続可能な行政サービスを提供するため、行政手続のオンライン化や業務のデジタル化等、DX推進の取組を確実かつ強力に進めていく必要があり、その方針となる計画を改定することによって、今後の本市のDX推進の方向性を明確化するとともに、これらのDXの取組を実践するために必要な能力等を身に付けたデジタル人材の育成を図ることで、更なるDX推進を図り、市民の利便性向上や業務の効率化・省力化を進めていく。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進計画の基本目標の表現や各重点取組事項に対する個別の助言をいただいた。特にフロントヤード改革については、令和8年度以降のスケジュールに一定の評価をいただくとともに、対象とすべき所属の範囲は、市が目指すべき姿から決めることや、企画財政部門についても事務局に入れるべき等をご助言いただいた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	改定素案の各重点取組事項について、一定の指摘はあったものの、取組の方向性やスケジュールについて概ね了承いただいた。特に改定計画の中心となるフロントヤード改革のスケジュールについては、各年度の取組が明確に記載されていることを評価いただき、今後の進め方の参考となった。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	フロントヤード改革については、市がどこまで目指すかによって対象とする所属の範囲が変わるが、この対象所属の決定が今後の進め方に大きく影響する重要なものであることを認識したため、今回いただいた助言も踏まえて、慎重に検討していきたい。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における**地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」**を数枚程度貼り付けて下さい。

